



2023年5月12日

各位

会社名 株式会社アイリッジ
代表者名 代表取締役社長 小田 健太郎
(コード番号: 3917 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 森田 亮平
(TEL. 03-6441-2325)

通期連結業績と通期連結業績予想または前期実績値の差異

及び繰延税金資産の取り崩しに関するお知らせ

当社は、2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）において、下記の通り、繰延税金資産の取り崩しを行いました。また、2023年3月期通期連結業績と、2023年2月10日に公表しました2023年3月期通期連結業績予想または前期実績との間に差異が発生しましたので、下記の通りお知らせします。

記

1. 通期連結業績と通期連結業績予想または前期実績値の差異(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,430	百万円 200	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
当期実績値 (B) (2023年3月期)	5,418	378	389	175	24.91
増減額 (B-A)	△11	178	—	—	—
増減率 (%)	△0.2%	89.5%	—	—	—
前期実績 (C) (2022年3月期)	5,423	342	340	255	36.51
増減額 (B-C)	△4	36	48	△79	△11.60
増減率 (%)	△0.1%	10.7%	14.3%	△31.3%	△31.7%

(2) 差異の理由

(通期連結業績予想との差異)

当社の連結子会社において、外注費が想定よりも低減され、売上総利益が改善した結果、営業利益が予想を上回る着地となりました。

(前期実績値との差異)

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、一部の営業外損益等の合理的な見積もりが困難であることから、具体的な予想数値は非開示としていました。経常利益については営業利益の差異の影響により前期を上回る実績となりました。親会社株主に帰属する当期純利益については、「2. 繰延税金資産の取り崩しについて」に記載の繰延税金資産の取り崩しに伴う法人税等調整額を94百万円計上したこと等により、前期実績を下回る実績となりました。

2. 繰延税金資産の取り崩しについて

繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、2023年3月期において、繰延税金資産の一部を取り崩し、法人税等調整額を94百万円計上しました。

以 上